

生駒市景観形成基本計画の全体構成（案）

第1章 計画の基本的事項と景観形成の理念

計画の基本的な事項と景観形成の理念

1. 計画の基本事項

1-1. わたしたちの暮らしと景観

- 暮らしと景観のつながり
- 生駒の景観のなりたち

1-2. 基本計画を策定する意義

- みんなが大切に思う景観を守る
- 多くの人の目に触れる景観の魅力を高める
- 暮らしの景観を育む

1-3. 計画の目的と位置づけ

- 計画の目的
- 計画の位置づけ

1-4. 計画の構成

2. 景観形成の理念

- 生駒らしい景観の特性を認識する
- 生駒らしさと向き合う
 - ・地勢を尊重する
 - ・場所の特性との調和を図る
 - ・暮らしの営みの中から育む
- 市民・事業者・行政が自ら考え協働しながら主体的に取り組む

第2章 生駒らしい景観の特性

「地勢」「地域性」「暮らし」の視点から読み解いた生駒らしい景観の特性

1. 地勢

地形や流域が「大景観」として生駒の景観の骨格を形づくる

- 生駒の地形の骨格
- 生駒山の存在感
- 緑のまとまりとまちの関係

2. 地域性

自然、田園、市街地景観など「中～小景観」として場所に応じた特性を持つ

2-1. 歴史・文化の文脈

- 集落の成り立ち
- 受け継がれてきた伝統

2-2. 市街地開発の文脈

- 住宅団地の開発と地形
- 個性を生み出す要素
- 計画的に開発された拠点市街地

2-3. 界隈の空気

- 幹線道路の空気
- 商店街の空気

3. 暮らし

人々の暮らしの営みが風景の中に息づいている

- 生業の風景
- 人々の原風景
- 活動の風景

第3章 パターンによる生駒らしい景観づくり

景観の特性から抽出した生駒らしい景観のパターンを使った景観づくりの方法

1. 生駒らしい景観のパターン

生駒らしい景観を形づくる普遍的なパターンを抽出

パターン

- | |
|------------------|
| 1 生駒山への意識 |
| 2 屋根並みに浮かぶ緑の島・帯 |
| 3 ヤマ・ムラ・ノラの層構造 |
| 4 見わたす眺望 |
| 5 見通す眺望 |
| 6 緑に溶け込む建物 |
| 7 緑のエッジ |
| 8 生駒山の修験の領域 |
| 9 顔となる空間 |
| 10 人が交わる場所 |
| 11 曲がった道 |
| 12 坂道の見上げと見下ろし |
| 13 通りのプロポーション |
| 14 連歌式 |
| 15 高低差の尊重 |
| 16 高いコミュニケーション |
| 17 すっきり感 |
| 18 暮らしのにじみ出し |
| 19 なりわいがつくる風景 |
| 20 聖なる場(パワースポット) |
| 21 アクションできる余地 |
| 22 人の尺度 |
| 23 期待感 |
| 24 表出する緑 |
| 25 どこでも緑 |
| 26 しきりとつなぎ |
| 27 受け継がれてきたデザイン |
| 28 生駒石 |
| 29 仮設の風景 |
| 30 移ろいの風景 |
| 31 記憶の風景 |

2. パターンを用いたデザイン

パターンを組み合わせてランゲージとして展開してデザインする方法

- デザインの手法
- パターンの組み合わせによるデザインの例

- ・住宅地
- ・古くからの集落
- ・田園風景
- ・中高層マンション
- ・商店街
- ・ロードサイド店舗
- ・工業地

第4章 身近なまちの景観づくり

立場の違いやまちの特徴に応じた身近なまちの景観づくりの方法

1. 立場に応じた景観づくり

- 「市民」の立場での景観づくり
(景観づくりに取り組む市民/住宅の施主/市外からの応援団)
- 「事業者」の立場での景観づくり
(景観づくりに取り組む企業市民/事業所の施主/開発・設計事業者)
- 「行政」の立場での景観づくり
(景観づくりの枠組みを整える主体/総合的な施策推進の主体/公共事業の事業主体)

2. 身近なまちの特徴に応じた景観づくり

- 「住宅地」での景観づくり
- 「商業地」での景観づくり
- 「集落」での景観づくり

第5章 景観形成の推進施策

市が取り組む推進施策

1. 市民や事業者による景観づくりの取り組みの促進

- 「啓発」の方針と施策
- 「誘導」の方針と施策
- 「規制」の方針と施策

2. 景観づくりに取り組む市民や事業者の支援

- 活動の芽を育み、活動を広げる
- 活動を充実させる
- 景観に関するルールをつくる

3. 景観をつくる公共事業の実施

- 公共施設の景観形成